

世界文化遺産 SITES OF JAPAN'S MEIJI INDUSTRIAL REVOLUTION

IRON AND STEEL, SHIPBUILDING
AND COAL MINING

明治日本の産業革命遺産

製鉄・製鋼、造船、石炭産業



明治維新
胎動の地

日本最大級の
カルスト台地
秋吉台

アクセスガイドマップ

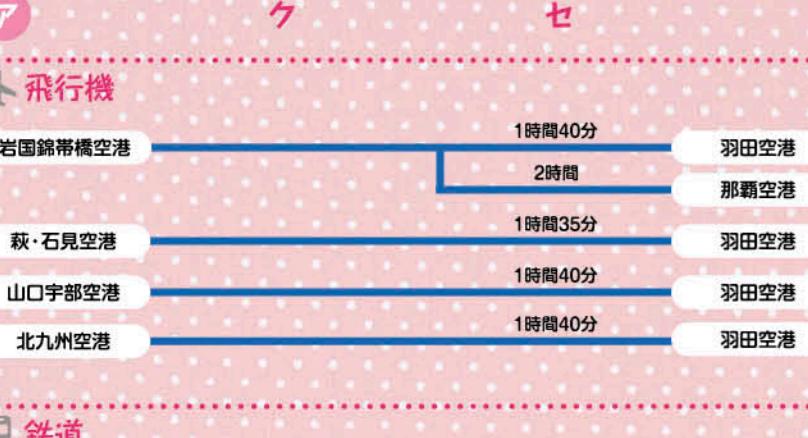


明治日本の産業革命遺産 ガイドアリバースポット

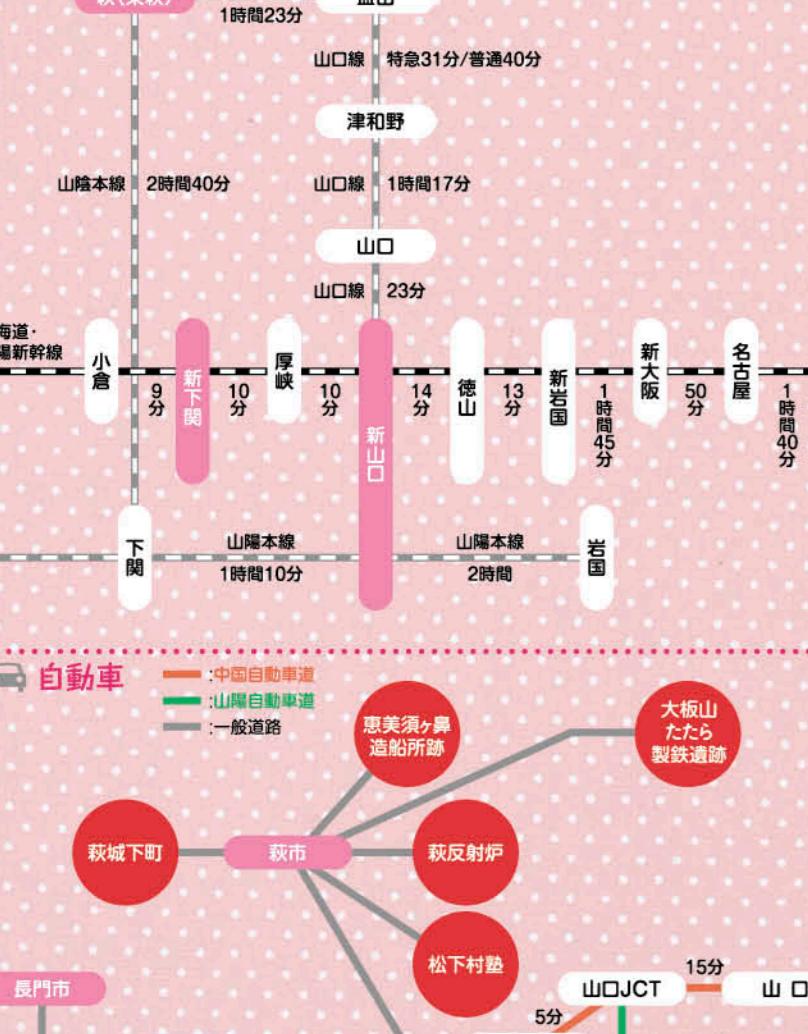


明治日本の産業革命遺産 HP
<http://www.japansmeijiindustrialrevolution.com/>

製作・監修一般財團法人産業遺産国民会議 info@nch.jp TEL:03-5318-0511



鉄道



日本は19世紀の後半から20世紀の初頭にかけて急速な産業化を実現し、産業国家の土台を構築しました。日本の重工業（製鉄・製鋼、造船、石炭産業）の産業化の歩みを証言する全国23の遺産群のうち、萩には製鉄・製鋼・造船に関する5つの資産が立地しています。

吉田松陰とその意志を継いだ者たちの痕跡



吉田松陰

吉田松陰は萩藩士・杉百合之助の次男として生まれ、山鹿流兵学塾の吉田家の養子として育てられました。1854年に海外密航を企て、アメリカ船「オーバーアーク号」に乗り込みましたが、拒絶され投獄されました。1855年に免獄となり国外の身となりました。その間に松下村塾を聞き、高杉晋作、久松玄瑞、伊藤博文、山縣有朋ら約90人の門人を集め、維新期の名を遺す出ました。



高杉晋作

蒲松明倫館に通う一方で松下村塾を通じて久松玄瑞と共に「松門の双壁」と称されました。身分を隠す日本初の軍事組織「奇兵隊」を結成し幕戦を勝利へと導きました。



久坂玄瑞

高杉晋作と共に松下村塾の双壁と言わしめた英才。松路は久坂を「防長少年第一流の人材」と高く評価しました。始門の愛で若しくて無念の死を遂げました。



山縣有朋

明治2年には第3代内閣総理大臣に就任。伊藤博文生き後は最大の発言力や元老として軍や政界に大きな影響力をもたらし、「長州間」の頂点に君臨しました。



渡辺萬蔵

蒲松により米英留学で造船技術を修得した後、工部省に入つて官営長崎造船所（現三菱重工長崎造船所）の初代局長に就任し、日本の造船事業の近代化に貢献しました。



萩城下町

1604年に毛利輝元が萩城を築いて以来、武家屋敷が軒を連ねた下町です。260年にわたって36万石の城下町として栄えた町並みには、重厚な武家屋敷、夏みやかんのくせに堅苦、黒板塗など、美しい町並みが今なお残り、往時の面影をとどめています。また、高杉晋作、木戸孝太郎の生家など、萩維新の志士ゆかりの地が現在、彼らの跡をとどめることができます。●萩市南古萩町付近 東駅から徒歩20分



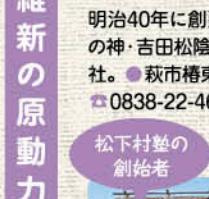
明治維新を感じる街歩き

萩城下町一帯は、商人や中級、下級士族などが暮らした町です。●萩市浜服町2-1 0838-25-3139



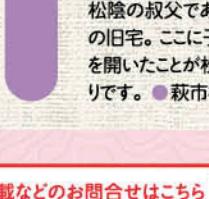
維新の志士が育った街を巡る

明治40年に創建された学問の神・吉田松陰を祭神とする神社。●萩市東1537 0838-22-4643



明治維新的原動力を感じる

松陰神社、松下村塾、吉田松陰の生家、萩の実家、萩の生家。非常に狭く、簡素な造りでした。●萩市東143-1 0838-25-1052



広告掲載などのお問い合わせはこち

製作・監修：一般財団法人 産業遺産国民会議 <http://www.japansmeijiindustrialrevolution.com/> TEL: 03-5318-0511

日本の近代システムを作った長州ファイブ

江戸末期、列強のアジア進出に危機感を感じた長州藩は、欧米の造船・鉄道技術の吸収をして、井上勝、山鹿庸三、遠藤謹助、井上勝、伊藤博文の若手たちをオランダに派遣しました。鎖国下の日本から海を越えて海を渡った彼らは、攘夷運動の限界と開港の重要性を痛感し、帰国後各々より近代国家形成に大きく貢献していました。その功績をたたえ「長州ファイブ」と呼ばれます。

井上勝 鉄道の父
伊藤博文 内閣の父

遠藤謹助 造船の父
山鹿庸三 洋式軍艦建造の先駆け
高杉晋作 日本古来の技術で維新を支える

木戸孝太郎 大板山たら製鐵遺跡
伊藤博文 大板山たら製鐵遺跡

吉田松陰 萩反射炉

井上馨 萩反射炉
山鹿庸三 萩反射炉

高杉晋作 萩反射炉

木戸孝太郎 萩反射炉

伊藤博文 萩反射炉

吉田松陰 萩反射炉

高杉晋作 萩反射炉

木戸孝太郎 萩反射炉

伊藤博文 萩反射炉